

## 1. システムの目的と目標

- 目的:
- 目標:

## 2. システムの利用者

- 利用者A

## 3. 機能要件

以下の機能を実装する:

### 3.1 機能A

- 誰が何をできるか

## 4. 非機能要件

以下の非機能要件を満たす:

### 4.1 可用性

- システムの稼働時間
  - 対応内容の案: クラスタリングによる冗長構成、ロードバランシングの導入
- エラーハンドリング
  - 対応内容の案: エラーログの収集と分析、ユーザーへのエラーメッセージの提供
- リカバリ機能
  - 対応内容の案: バックアップとリストア手順の確立、システム障害時の自動復旧機能

### 4.2 セキュリティ

- 認証・認可
  - 対応内容の案: ユーザー認証システムの実装、アクセス権限の管理と制御
- 機密性
  - 対応内容の案: データの暗号化、アクセス制御とデータ分類の実施
- 完全性・可用性
  - 対応内容の案: データのハッシュ値の検証、データの冗長性とバックアップ
- インシデント対応
  - 対応内容の案: インシデント対応チームの設置とトレーニング、インシデントレスポンスプランの策定

### 4.3 性能・拡張性

- 応答時間
  - 対応内容の案: チューニングと最適化、キャッシングの導入
- 呑み込み能力
  - 対応内容の案: スケーラブルなアーキテクチャの採用、データベースのパフォーマンスチューニング

## 4.4 運用・保守性

- 監視・ログ
  - 対応内容の案: 監視ツールの導入とアラート設定、ログの適切なローテーションと保存
- バックアップ・リカバリ
  - 対応内容の案: スケジュールの設定、バックアップデータの保管先の選定
- ドキュメンテーション
  - 対応内容の案: システム構成や運用マニュアルの作成、更新された情報の管理

## 4.5 システム環境・エコロジー

- ハードウェア要件
- 対応内容の案: サーバーのスペックとスケーリング計画、パフォーマンスと消費電力の最適化
- エネルギー効率
  - 対応内容の案: ハードウェアの省エネルギー設計、イネーブルスリープモードの導入
- リサイクル対策
  - 対応内容の案: ハードウェアの廃棄物処理とリサイクル計画、電子書類の推進と印刷物の削減

## 5 ユーザーストーリー